

新潟県がん診療連携協議会

令和 6 年度 第 1 回 情報連携部会

次 第

1. あいさつ

県立がんセンター新潟病院 副院長 竹之内 辰也

2. 協議

1) がん地域連携パスについて

(1) がん連携パスの利用状況について

資料 2-1

(2) 今後の課題等について

資料 2-2

(3) 乳がん連携パスの改訂について

資料 2-3

資料 2-4

2) がん相談支援センターについて

(1) 活動報告（アピアランス含む）

資料 3-1

(2) 就労支援に関する取り組みの報告

資料 3-2

3) P D C A サイクル実施状況の評価について

資料 4-1

資料 4-2

4) 第 22 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

資料 5

5) 地域相談支援フォーラムについて

資料 6-1

資料 6-2

6) 情報提供（福祉保健部より）

7) ワーキング活動報告（3 グループより）

資料 7-1

資料 7-2

資料 7-3

8) がんネットワークナビゲーターについて

資料 8

9) 新潟県がん相談員研修のお知らせ

資料 9

令和6年度第1回情報連携部会 出席者名簿

施設番号	施設名	所属	職名	氏名
	新潟県福祉保健部	地域医療政策課	政策企画員	高畑 慶一郎
		地域医療政策課	主事	桑水流 真生
		健康づくり支援課	主任	石黒 裕二
	高野医院	長岡市医師会		高野 勝
1	県立がんセンター 新潟病院	皮膚科	副院長 患者サポートセンター長	竹之内辰也
		患者サポートセンター	看護師長 副センター長	松井 園子
		患者サポートセンター	副看護師長	伊藤 典子
		患者サポートセンター	主査(医療ソーシャルワーカー)	菅野 まり子
		患者サポートセンター	主査(医療ソーシャルワーカー)	大下 多恵子
		庶務課	庶務係長	錦織 ゆか子
2	新潟大学医歯学 総合病院	腫瘍センター	部長	若井 俊文
		腫瘍センター	看護師長	下鳥 由紀
		患者総合サポートセンター	MSW	志田 香奈子
		医事課	副課長	井部 達也
		医事課	専門職員	目黒 恵美
3	新潟市民病院	腫瘍内科・がん診療支援室	医師	伊藤 和彦
		がん診療支援室	医療福祉相談員	小林 朝美
4	県立新発田病院	診療部	診療部長兼患者サポートセンター長	長谷川 聡
		患者サポートセンター	社会福祉士	斎藤 愛里
		患者サポートセンター	主任看護師	山田 史子
5	長岡中央総合病院	消化器病センター・外科	外科部長	川原 聖佳子
		がん相談支援センター	医療ソーシャルワーカー	村田亜由美
		がん相談支援センター	看護師	遠藤 春美
6	長岡赤十字病院	呼吸器内科	呼吸器内科部長	石田 晃
		がん相談支援センター	看護係長	橋本 幸子
		がん相談支援センター	MSW	宇佐美 靖子
7	県立中央病院	医局	外科診療部長	青野 高志
		患者サポートセンター・がん相談支援センター	副看護師長	樋口 伸子
8	魚沼基幹病院	がん相談支援センター	センター長	小杉 伸一
		腫瘍センター	看護師長	泉沢 雅子
		がん相談支援センター	看護師	池田 幸恵
		がん相談支援センター	医療ソーシャルワーカー	上村 久美
		がん相談支援センター	医療ソーシャルワーカー	佐藤 芳伸
		事務部経営企画課	事務	深野 光一郎
9	済生会新潟病院	医療福祉相談室	MSW	洪川 健史
10	立川総合病院	看護部	看護師	吉岡 美鈴
		医療相談室	MSW	江部 涼太
		医療連携室	一般事務	川内 泰志
11	柏崎総合医療センター	患者サポート室	MSW	横川 純一
		西6階病棟	看護師	横関 泰江
12	上越総合病院	患者サポートセンター	看護師	利根川 典子
		患者サポートセンター	MSW	今井 一徳
13	西新潟中央病院	医局	特命副院長(呼吸器部長)	渡辺 健寛
		看護部	がん性疼痛看護認定看護師	星野 睦美
		地域医療連携部	医療社会事業専門職	吉田 大輔
14	佐渡総合病院	がん相談支援センター	ソーシャルワーク科長	齋藤 謙
		がん相談支援センター	事務	濱田 望
		地域がん診療病院運営委員会事務局	医事課事務	佐久間 祥
		地域がん診療病院運営委員会事務局	医事課主任	山口 剛義

新潟県がん診療連携協議会

令和6年度 第1回 情報連携部会議事録 【要旨】

(令和6年7月8日(月) 開催)

【協議1)(1) がん地域連携パスの利用状況について】資料2-1

- ・胃がんに関しては、再生会新潟病院で一定数の利用あり。
- ・大腸がんは、長岡中央病院で利用。
- ・乳がんは多くの病院で利用。前年より件数増。
- ・肺がんに関してはしばらく利用実績なし。

【協議1)(2) 今後の課題】 資料2-2

- ・登録連携医療機関の閉院や受入不可に伴い、新規連携先の開拓について課題が挙げられた。
- ・新潟県の医師会報に「乳がん地域連携パスの改訂」、「乳がん地域連携パスとはどういうものか」の記事を掲載予定。
- ・病院単位での広報活動も重要。情報交換紙等を活用し、連携パスの宣伝をしていくことも重要。
- ・済生会新潟病院より、紙ベースのアナログ媒体の利用方法に対し課題が挙げられた。今後検討の必要な課題と認識している。

【協議1)(3) 乳がん地域連携パスノートの改訂について】 資料2-3、2-4

- ・昨年度、新潟市民病院より乳がん地域連携パスノートの改訂について提案があった。
- ・アンケートを実施し各病院の意見をもとに改訂案を作成、がんセンター、新潟市民病院乳腺外科医師、連携先登録医療機関のいがた乳腺クリニック、新潟ブレスト検診センター、まきの乳腺クリニックから了承をいただき、この度改訂となった。
- ・今後、改訂版の電子データを拠点病院へ送る。各病院で新しいノートの作成をおこない、8月からの配布を目指す。
- ・地域の連携先登録医療機関には改訂内容と連携パスノートの使用方法を改めて明示する予定。
- ・ページニオとTS-1については、乳腺外科医師間で別に協議予定。

【協議2) がん相談支援センター、就労支援について】資料3-1、3-2

- ・各病院から資料に基づき活動報告を受ける。詳細は議事録参照。
- ・挙げた課題に対する各病院からの回答。
〈デジタルサイネージを利用した啓発普及について〉
 - ・導入している病院は新発田病院、済生会新潟病院。がん相談支援センターの広報、セカンドオピニオンの情報を流している。デジタルサイネージ利用の効果は評価が難しい。
- 〈アピアランス支援について〉
 - ・アピアランス支援に関するスペース（ウィッグの資料や見本の提供）を用意している病院がある。各病院では市町村のアピアランス助成事業の情報提供を実施している。アピアランスケアに関するeラーニングを受講し、相談に活用している。

〈利用者の満足度調査について〉

- ・がん相談支援センター独自の満足度調査を実施しているのはがんセンター、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院。他病院は、病院全体の満足度調査の実施が多く、相談支援に対する質問項目はない。
- ・がん相談支援センターのご意見箱の設置、多職種カンファレンスで患者様の感想や意見のフィードバックを受けるシステムを利用している病院もある。

〈セカンドオピニオンの情報提供について〉

- ・国立がん研究センターの「セカンドオピニオンについて」の情報を利用して情報提供している。
- ・主治医からの説明と同意書に一文「セカンドオピニオンを受ける権利がある」ことの記載をしている。
- ・病院ホームページやパンフレットに記載をしている。
- ・セカンドオピニオンと転院の区別がつかない患者様がいる。セカンドオピニオンの説明文書を用意している。
- ・今までセカンドオピニオンの相談をした病院の情報を提供している。

〈研修を受けたピアサポーターの確保について〉

- ・新潟県で養成研修が受けられる制度はない。各病院ともに確保できていない現状。ピアサポーターになりたい、とやる気のある方からの問い合わせがある場合もある。

〈がん患者全員を相談支援センターへ誘導する流れについて〉

- ・がんと診断された方に、外来で「がん相談支援センター」の案内を渡している。どこにあるかの場所等の情報を提供することで対応している。全員の相談対応はマンパワー的に対応が難しい。データのとり方も困難。

〈就労支援の院内スタッフへの周知について〉

- ・がん相談支援センターから院内スタッフ向けの広報誌を作成し、そこに就労相談等について掲載したことがある。
- ・外来スタッフへ、がん相談支援センターで就労支援をしていることがどの程度認知されているかアンケートを取る案を検討している。
- ・就労支援に関するポスターの院内掲示や医局向けに発信し、周知を図っている。
- ・院内スタッフ向けの研修を年1回行っている。
- ・ワーキンググループの活動で作成している動画も活用していきたい。

【協議3）PDCA サイクル実施状況の評価について】資料4-1、4-2

- ・今年度から新しいPDCA サイクルの評価表を取り入れた。「ピアサポートの支援」「がん相談支援センターの環境整備」評価が低く課題である。モニタリングの実施が十分できている、と回答した病院は1つもなかった。
- ・課題や実践できていない内容は、活動報告内で挙げられたものが反映している。

【協議4）第22回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告】資料5

- ・年2回の協議会の会議が都道府県の部会で役に立っているかのアンケートを実施、役に立っているとの回答が大半。
- ・災害時のがん患者の受け入れ状況について、今後大災害があった場合にどうするか、Web ベースのホ

ーム入力ができる。BCP（事業継続計画）も国の部会できちんと作らないといけない、という話だった。Web上で確認いただきたい。

（ 国立がん研修センターがん情報サービス HP：医療関係者向け＞相談支援＞災害時関連情報 ）

【協議5）地域相談支援フォーラムについて】資料6-1

- ・昨年度開催された地域相談支援フォーラム in 山梨について、新潟大学医師学総合病院 患者サポートセンター 志田香奈子 MSW から報告いただく。
- ・「妊孕性を学び相談できる仲間を増やそう」というテーマで行われ、新潟県内各拠点病院へ妊孕性温存療法に関するアンケートを実施。結果は、相談を受けている実績が少ない、関係する診療科での対応になっており院内での周知ができていない、相談支援部署の介入が難しい現状。
- ・AYA 世代支援は医療機関によって取り組みに差がある結果。AYA 世代支援の重要性を啓発し、支援の充実を図ることを目標にアクションを起こす重要性を学ぶ機会となった。

資料6-2

- ・今年度の地域相談支援フォーラムは長野県担当。11月23日（土）午前開催予定。
- ・今年度の当県シンポジストを新潟市民病院からがんセンター新潟病院へ変更した。来年度新潟市民病院がシンポジスト予定となり、今までの輪番制にズレが生じることを報告。
- ・長野県から開催案内が届いたら、皆様からの出席をお願いしたい。

【協議6）福祉保健部より情報提供】

〈新潟県 福祉保健部 健康づくり支援課 石黒主任より説明〉

- ・アピアランスケア助成事業を開始する市町村が増えた。市町村に対する県の助成事業も成果の一つ。健康づくり支援課のホームページ「健康づくり新潟 21」に助成事業実施市町村の一覧をまとめている。佐渡市が今後開始する等、情報入り次第随時更新するので参照してほしい。
- ・県では令和3年度から小児・AYA 世代に対する妊孕性温存療法の助成事業で治療費助成を実施。助成事業に関してチラシを作成した。県のチラシを活用して、相談時案内をお願いしたい。
- ・ピアサポーター養成研修について、現時点で養成研修の計画はない。現場のニーズを把握しながら今後の対応を検討していきたい。
- ・今後、各病院のホームページ等でアピアランスケアの情報提供ページを掲載する際には、「健康にいがた 21」のページをリンク先として貼ることが可能。

〈新潟県 福祉保健部 医療政策課 高畑医事企画員より説明〉

- ・本県におけるがん患者等に対する妊孕性温存療法、温存後生殖補助医療は指定医療機関である新潟大学医歯学総合病院とミアグレースクリニック新潟が担っている。
- ・小児・AYA 世代における、子どもを持つことを希望するがん患者等に対してはがん診療連携拠点病院等と妊孕性温存療法、生殖補助医療実施医療機関との連携が重要であることから、県が「新潟県がん・生殖医療ネットワーク」を組織し、患者様への情報提供や医療機関間での患者様の紹介や治療内容と患者様の情報共有等を行っている。

・医療従事者の皆様へのお願い。がんの診断後、子どもを持つことを希望する患者様がいたら、県ホームページの「医療従事者の皆様へ」の項目等を参照し、がんの治療開始前に妊孕性温存療法または温存後生殖補助医療実施医療機関へ紹介してほしい。

【協議7）ワーキンググループ活動報告】 資料7

〈昨年度から活動を開始した3つのワーキンググループの活動報告〉

1 グループ

・県内で共通の情報提供ができるよう、新潟県内におけるロボット支援手術にかかる情報共有・情報収集を目的に活動。昨年度各病院にロボット手術にかかるアンケートを実施し取りまとめた。9月に各病院へリストを提示予定。その後、昨年度の情報に変更点があるか確認を取り、令和6年度のリストを作成予定。タイムリーな情報共有が必要と思っている。

2 グループ

・がんと診断された患者様や家族から困りごとや不安が聞かれた時相談につながるよう、まずは院内職員にがん相談支援センターの周知連携を図ることを目標に活動。院内職員向けにがん相談支援センターの役割等をまとめた動画を作成。前年度中に動画の案を作り、他グループにアンケートを実施。今年度はアンケートをもとに動画を修正、各病院へ配信予定。

3 グループ

・各病院のアピランスケアの取り組みと自治体の取り組みの情報共有に関し、アンケートを作成。今年度はアンケートを配布し情報集約。各病院へ正しい情報の発信ができるよう取り組む。今後、情報集約したものをどのように各病院へフィードバックするか、周知方法の相談を行う。年末には発信した情報の活用方法の検討、各病院の周知状況を確認していく。

〈がんセンター〉今年度、ワーキング活動2年目。今年度中に活動集約し、各拠点病院で統一した情報発信ができるような取り組みをお願いしたい。

【協議8）がんネットワークナビゲーターについて】 資料8

・認定がん医療ネットワークナビゲーター制度の目的は「我が国におけるがん医療の発展と進歩を促し国民の福祉に貢献すること」（日本がん治療学会）とされている。

・新潟県の現状。令和5年度に認定がん医療ネットワークシニアナビゲーターが2名誕生。現在ナビゲーターも2名いる。薬剤師の方がシニアナビゲーターに認定。

・ナビゲーターは地域とのつなぎ役。資格取得者の職種は医師、看護師、薬剤師のほか、ピアサポーターや一般職の方々。資格があることを理解し、がん患者のつなぎ役となる方を増やしていきたい。また、情報提供の一環としてほしい。10年ほど前からがん治療学会の制度として始まり、全国でも地域によって温度差がある。新潟県の指導責任者として普及啓発を進めたい。

【協議9）新潟県がん相談員研修のお知らせ】 資料9

・今年度のテーマは「ぬくもりある相談支援の実践のために～相談対応の質保証を学ぶ QA 研修～」日時は9月28日 土曜日午後の予定。Zoomでの開催。

・対象は情報連携部会の皆様、相談担当者。同僚の相談員にも声をかけ参加いただきたい。

【まとめ、閉会のあいさつ】

- ・活動報告から、困っていることや工夫していること等共有できた。
- ・ワーキング活動は継続して行ってほしい。
- ・今年度第2回の情報連携部会は例年通り書面開催。国の部会の情報提供もその場で行う。
- ・細かい内容でも情報交換のために情報連携部会のメーリングリストを活用してほしい。

胃がんステージⅠ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟	1	3	1	0	1	0	4	1	4	0	3	1	19	15
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	1	3	1	0	1	0	4	1	4	0	3	1	19	15

胃がんステージⅡ・Ⅲ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	3
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	3

胃がん ESD

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大腸がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0

計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

乳がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度
がんセンター	27	30	25	27	28	27	31	28	32	26	24	31	336	254
新潟大学	4	8	6	5	9	3	11	16	5	7	16	14	104	93
新潟市民	17	17	18	19	22	20	21	19	22	14	15	20	224	214
県立新発田	6	10	10	7	11	10	11	7	11	10	9	8	110	98
長岡赤十字	6	7	9	8	6	12	16	13	13	11	8	10	119	128
長岡中央	6	7	5	4	5	1	5	10	4	5	5	3	60	54
県立中央	9	8	10	13	12	10	12	5	10	10	6	5	110	89
済生会新潟	2	7	5	2	3	2	3	1	1	1	7	4	38	50
魚沼基幹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立川総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柏崎総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上越総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4	0
西新潟中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐渡総合病院	10	6	6	7	4	5	11	5	6	6	3	9	78	71
計	87	100	94	92	100	90	121	104	104	92	93	106	1183	957

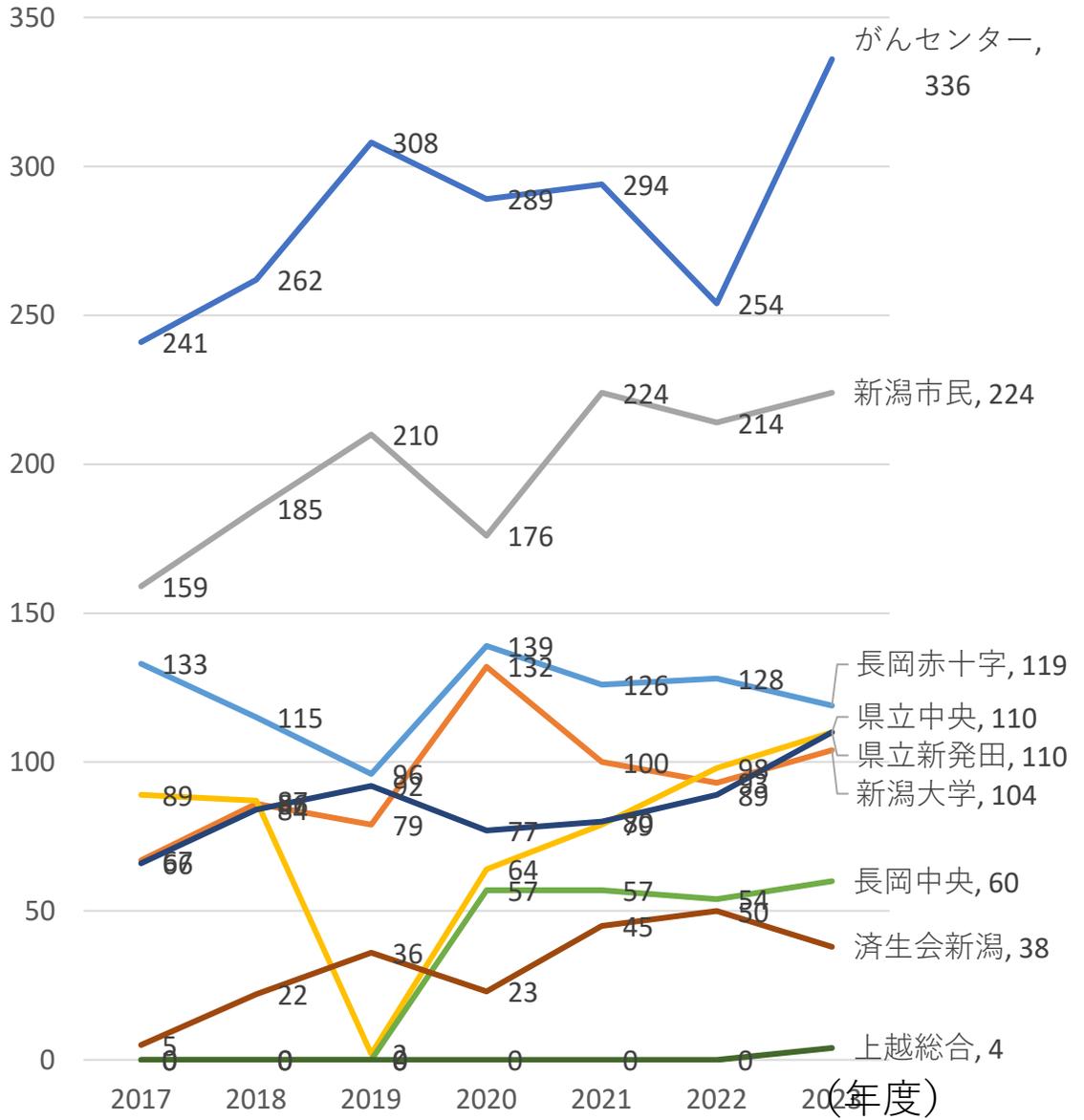
肺がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

肝がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

乳がん地域連携パスの新規利用状況

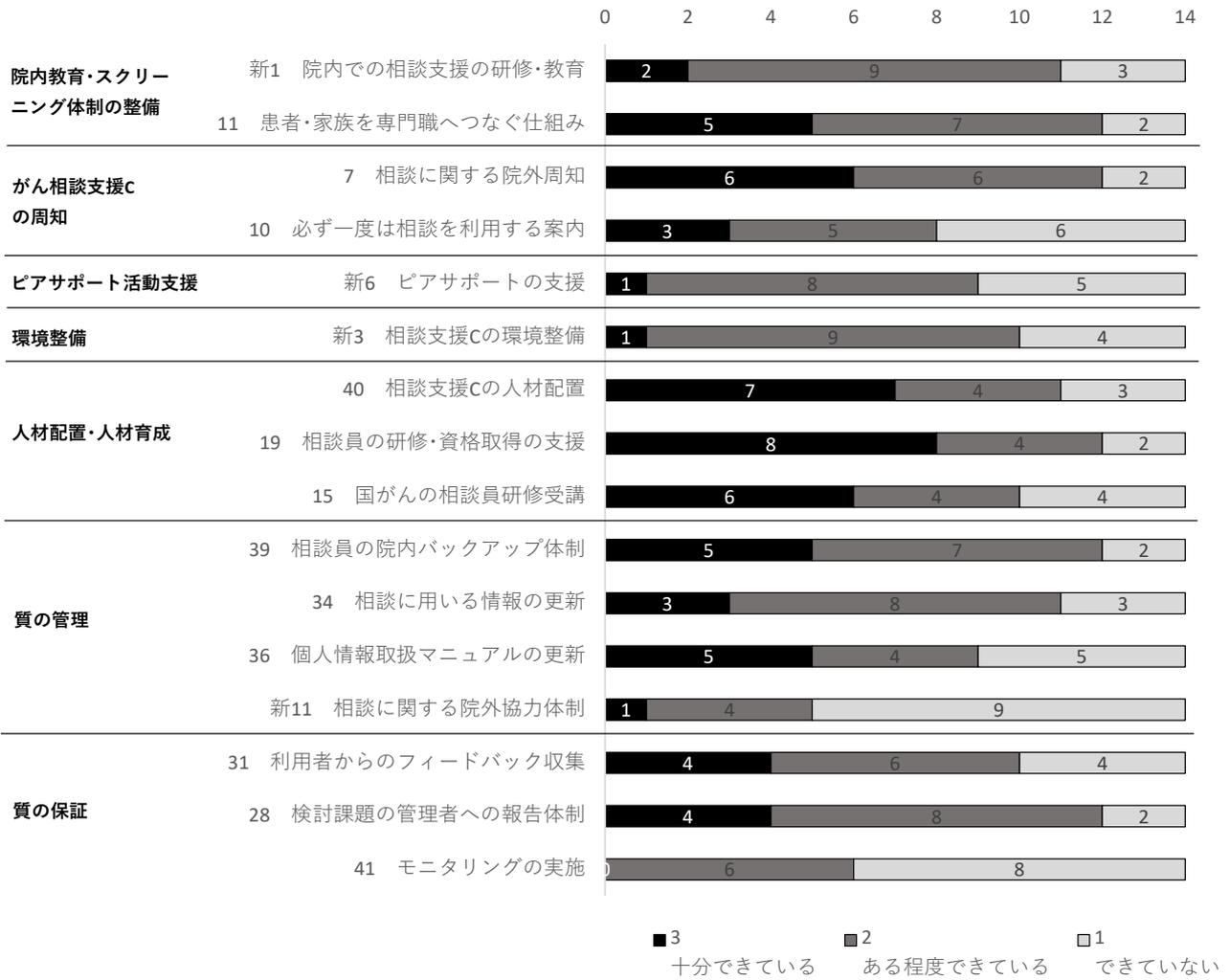


病院名 相談室の名称	担当者			相談実件数 (2023.4.1～2024.3.31)	がん相談員研修受講終了の現況						相談支援のスキル向上を目的とした取り組みの状況	啓発・普及の取り組み状況(講演会の開催等)、 アピアランス支援の取り組み状況	今後検討・計画していること	情報連携部会に関するご質問等ございましたらご記入ください。			
	専任:がん相談8割以上 専任:がん相談5割以上	職種	兼務業務		氏名	職種	基礎(1)	基礎(2)	基礎(3)	指導者					認定がん相談員		
県立がんセンター 新潟病院 患者サポートセンター	専任(8割以上) 大澤知佳 専任(5割以上) 上山裕美 その他 松井園子 伊藤典子 澤田巻 三富香子 川井管理 菅野まり子 大下多恵子 石井果歩	看護師 社会福祉士	入院支援 入院支援 入院支援 入院支援 心理相談等 入院支援 入院支援	面接相談	3165	松井園子	看護師	○	○					<ul style="list-style-type: none"> ・相談員研修会、在宅医療研修会、地域医療講演会の企画 ・新患者へ患者サポのパンフレット配布、院内にリーフレット設置 ・患者会の開催支援 ・がん対策事業での相談対応 ・AYAマニュアルの作成、マニュアルを活用した相談支援 ・アピアランスケアマニュアルの作成、アピアランススペースの立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内での相談員の対応向上に向けた対応事例を共有する学習会の開催 ・アピアランススペースの設置 		
				電話相談	1074	川井管理	公認心理士	○	○	○			○				
				その他	0	上山裕美	社会福祉士	○	○	○	○	○	○				
						菅野まり子	社会福祉士	○	○	○	○	○	○				
						大下多恵子	社会福祉士	○	○	○			○				
						石井果歩	社会福祉士	○	○								
						伊藤典子	看護師	○	○								
						澤田巻	看護師	○	○	○	○	○	○				
						三富香子	看護師	○	○								
						川井管理	公認心理士	○	○								
県立新発田病院 がん相談支援センター	専任(8割以上) 山田史子 専任(5割以上) 西岡幸江	看護師 MSW	医療相談	面接相談	725	西岡 幸江	MSW	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージを利用したがん相談支援センターの広報 ・がん相談支援センターの相談室にウィッグの見本を展示、アピアランスケアに関するパンフレットやサンプルを置いている。 ・新発田市で令和5年10月からアピアランスケアの助成事業(令和5年4月以降購入分から助成可)が始まり、案内をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんサロンの開催 			
				電話相談	694	高橋里美	社会福祉士	○	○	○	○	○					
				その他	0	石山結貴	社会福祉士	○	○	○	○	○					
						齋藤愛里	社会福祉士	○	○	○	○	○					
						松澤拓実	社会福祉士	○	○	○	○	○					
新潟市民病院 がん相談支援センター (患者総合支援センター スワンプラザ内)	専任(8割以上) 小林朝美 専任(5割以上) 藤澤潮里 その他 押見将孝	MSW MSW MSW	入院支援職員業務 患者相談業務等	面接相談	425	押見 将孝	MSW	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・啓発・普及の取り組み状況: 院内のポスター掲示、リーフレット設置 院内スタッフ向け広報誌、一般市民向け広報誌での広報 緩和ケア研修会での広報 アピアランス支援の取り組み状況: 令和5年度のアピアランスに関する相談は4件。新潟市がん患者アピアランス事業についてやウィッグ販売業者について情報をお伝えした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度全国自治体病院学会にて研究発表の予定。 			
				電話相談	260	小林 朝美	MSW	○	○	○	○	○					
				その他	0	藤澤 潮里	MSW	○	○	○	○	○					
新潟大学医学部総合病院 がん相談支援センター	専任(8割以上) 志田 香奈子 専任(5割以上) 山藤直美	MSW 看護師	通院治療室業務	面接相談	1932	志田 香奈子	MSW	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン(YouTube)にてがんサロンを実施。アピアランスケアについても患者に情報提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんサロンの開催を継続して実施。 		
				電話相談	1215	山藤 直美	看護師	○	○	○	○	○					
				その他	0												
済生会新潟病院 医療福祉相談室	専任(8割以上) 沢川健史 専任(5割以上) 月岡多恵子	MSW MSW		面接相談	283	沢川 健史	MSW	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・特に無し 	<ul style="list-style-type: none"> アピアランスケアの一環で、ボランティア作成の手作り帽子を無料配布している。 	<ul style="list-style-type: none"> アピアランスケアについて、美容師と情報共有を検討中。 		
				電話相談	56	月岡 多恵子	MSW	○	○	○	○	○					
				その他	4												
長岡赤十字病院 がん相談支援センター	専任(8割以上) 橋本幸子 専任(5割以上) 宇佐美 靖子 その他	看護師 MSW		面接相談	420	橋本 幸子	看護師	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県主催の相談員研修に参加する ・がん関連の研修に参加する(自己研鑽) 	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発・普及の取り組み 市民公開講座をR6年3月に開催した。 市民公開講座をR6年3月に開催した。 【職員の役割を伝えPRした。】 【利用者向け】診断時がん相談支援センターの冊子配布(科によって配布数はばらつきあり) がん情報コーナー等院内敷が所に冊子を設置している。 アピアランス支援 脱毛を伴うがん治療を受ける方にボランティアで作成した帽子をお渡ししています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年7月市民公開講座 テーマはピアサポート・闘病体験の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター利用者への満足度調査はどのように実施していますか。当院では、対面相談時に相談者に主旨を説明して協力を依頼し実施しています。相談者の心身の負担が大きいと判断した場合には依頼しなかったり、依頼を失念することがあり、一律に依頼することができていません。 他施設の調査方法を知り、参考にさせていただきたいです。 セカンドオピニオンの情報提供はどのように行っていますが、特に地域や治療法を限定されない場合に、提供している情報が妥当なのか疑問を感じます。 	
				電話相談	239	宇佐美 靖子	MSW	○	○	○	○	○					
				その他	4												
長岡中央総合病院 がん相談支援センター	専任(8割以上) 遠藤春美 専任(5割以上) 村田亜由美 その他 船越 愛	NS MSW MSW	医療相談、他 医療相談、他	面接相談	344	船越 愛	MSW	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講 ・事例共有と対応の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 認定看護師(がん看護外来)、市中の対応可能な理美容室、補助制度などの紹介と案内 「国立がん研究センター 2023アピアランスケアelearning」受講 看護部委員会がアピアランスケアに関する研修会を計画中 	<ul style="list-style-type: none"> 「研修を受けたピアサポーター」の確保はどうしているのか 当県でピアサポーター養成講座の計画はあるか 		
				電話相談	133	村田 亜由美	MSW	○	○	○	○	○					
				その他	0	遠藤 春美	MSW	○	○	○	○	○					
県立中央病院 患者サポートセンター がん相談支援センター	専任(8割以上) 樋口伸子 専任(5割以上) 高橋洵貴 その他 村山彩夏	副看護師長 主任医療ソーシャルワーカー 公認心理師	医療相談 退院文書 心理相談等	面接相談	256	樋口 伸子	副看護師長	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・国立がん研究センター主催の教育研修はじめ、各病院開催の教育研修(ZOOM)受講の参加 	<ul style="list-style-type: none"> 《啓発・普及の取り組み状況》当院主催の市民公開講座でがん相談支援センターについて講演。当院ホームページ掲載、ポスター掲示、パンフレット設置し普及に努めている 《アピアランス支援の取り組み》当院がんサロンでアピアランスケアを企画・実施。外観の変化に関連するパンフレット設置や、ウィッグ関連事業所担当との情報交換、アピアランスに関する各市町村助成制度について担当者との面談し情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内/外でがん相談支援センターの周知が十分図れていない現状あり。院内では情報連携部会ワーキンググループ活動でがん相談支援センター周知用動画発信の動きあり。動画視聴に向けて準備を進めたい。がん相談支援センター案内に関する院内ホームページ掲載、ポスター掲示、パンフレット設置は引き続き継続。 		
				電話相談	172	高橋 洵貴	主任医療ソーシャルワーカー	○	○	○	○	○					
				その他	141	村山 彩夏	公認心理師	○	○	○	○	○					
魚沼基幹病院 がん相談支援センター	専任(8割以上) 池田幸恵 専任(5割以上) 佐藤芳伸 その他 上村久美	看護師 医療ソーシャルワーカー 医療ソーシャルワーカー	退院支援 医療福祉相談	面接相談	407	池田幸恵	看護師	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・がん情報サービスの相談員研修で受講可能な研修には積極的に参加するよう取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も昨年同様取り組みを継続する。 ・がん患者サロンでは、魚沼地域にウィッグの販売店が少ないことから、試着体験を含んだサロン開催を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の連携拠点病院が参集することから、日ごろ自院で悩んでいることについて、他院の状況を教えてもらうなど、情報交換ができるのがありがたいです。 例えば、①現時点での当院の悩みは、がん診療された全患者をがん相談支援センターに案内する流れは作ったが、実際案内する外来看護師からは「患者さんが告知された日は今日はいいですと書かれ、後日は今悩まはなにかないです」といわれるので、なかなか案内しづらい。パンフレットで案内をお知らせするだけではダメかと意見があるが、他の病院では院内でできているのでしよう。②他院に「がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを受ける体制を整備している。」とあるが、モニタリングなどに取り組みはしているかなど。 		
				電話相談	189	佐藤芳伸	医療ソーシャルワーカー	○	○	○	○	○					
				その他	0	上村久美	医療ソーシャルワーカー	○	○	○	○	○					
西新潟中央病院 医療相談室	専任(8割以上) 専任(5割以上) その他 吉田大輔	MSW		面接相談	4	吉田 大輔	MSW	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・肺がんセミナーについて、年2回開催する予定です。 			
				電話相談	9												
				その他	0												
立川総合病院 医療相談室	専任(8割以上) 専任(5割以上)			面接相談	21	勝山 智美	看護師	○	○				<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・研修会へ積極的に参加し、自己研鑽を行うことで相談支援へ繋がること意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 	
				電話相談	4												
				その他	0												
柏崎総合医療センター がん相談支援センター	専任(8割以上) 専任(5割以上) その他 横間 泰江 横川 純一	看護師 社会福祉士	病棟部長業務 退院支援業務	面接相談	149	横間 泰江	看護師	○									
				電話相談	75												
				その他	0												
上越総合病院 がん相談支援センター	専任(8割以上) 専任(5割以上) 利根川 典子 その他 荒川 和也	看護師 MSW		面接相談	317	荒川 和也	MSW	○	○	○	○						
				電話相談	153												
				その他	0												
佐渡総合病院 がん相談支援センター	専任(8割以上) 齋藤 謙 専任(5割以上) 濱田望	MSW 事務員	地域医療連携室	面接相談	120	齋藤 謙	MSW	○	○				<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会や研修会への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(啓発・普及) 院内ポスターの掲示及びリーフレットの設置(アピアランス支援) アピアランスケアに関する冊子等の配布・設置(医療的な知識が必要な個別相談に関しては、化学療法室の看護師に対応依頼) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、決まっておりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
				電話相談	43	濱田 望	事務員	○	○	○	○	○					
				その他	2												

病院名	1. ハローワークとの連携について				2. 産業保健総合支援センターとの連携による仕事と治療の両立支援について				
	①実施状況		②相談実績		③今後の計画	④就労支援の取り組みについての課題	①実施状況	②両立支援促進員介入件数	
	ハローワークの定期出張相談	実施状況	相談件数	就労に繋がった件数				R5	R6
県立がんセンター新潟病院	あり	<実施状況> 毎週木曜日10時～15時実施。予約制で実施	R5 14件 2件 R6 4件 0件	・外来患者へのリーフレット配布・ポスター掲示、HPにより、就労支援について周知を図っている。今年度、新たに両立支援事業の案内をHP上に掲載する予定。 ・入院患者に対しては、就労支援のニーズについて把握し、希望に応じて出張相談を紹介している。 ・院内スタッフに研修(YouTube視聴)により就労支援を周知し、ニーズのある患者を就労支援につないでもらうための働きかけを行う予定。	院内スタッフに対する周知、啓発および連携促進に向けた取組をおこなっていただければ、教えていただきたい。	・両立支援促進員との面談は、患者の希望に応じて産業保健総合支援センターと日程調整して随時行う形となっている。患者への情報提供はハローワークと同様の形で行っている。 ・昨年度から産業保健総合支援センターと連携した事例はないが、勤務情報提供書にもとづく主治医意見書の作成は昨年度～今年5月末までに3件あり、うち1件は治療・就労両立支援指導料を算定した。	R5 0件 R6 0件		
県立新発田病院	あり	月2回の相談会実施	R5 17件 4件 R6 3件 0件	ハローワークによる就職支援や産業保険総合支援センターの両立支援事業のポスター掲示・パンフレットの設置		就労継続支援が必要なケースがある場合は、その都度介入依頼をしている。	R5 2件 R6 0件		
新潟市民病院	あり	<実施状況> ・毎月2回(第2水曜日、第4火曜日13:00～16:00)出張相談を実施。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、これまで上記日時・時間帯に就職支援ナビゲーターに来院・在室していただいていたところを、出張相談予約が入った日時のみ来院・在室としている。	R5 13件 2件 R6 2件 0件	今年度より、所定の日時での出張相談が難しい方に対し、オンラインでの出張相談を実施する予定。		・患者さんからの希望に応じ、随時日程調整の上、出張相談を実施している	R5 0件 R6 0件		
新潟大学医学総合病院	あり	<実施状況> ・特定の出張日は設けず、希望時に出張相談の調整を行っている。 ・相談支援センター等を介さず直接ハローワークに出向き、就労支援を受けられている患者さんも多くおられる。	R5 2件 0件 R6 1件 0件	入院～外来と切れ目なく継続して就労支援が出来るよう入院担当のMSWと外来担当のMSWにて情報共有を図る。(入院担当と外来担当でMSWが代わる為)		・希望時に出張面談の調整を行っている。 ・相談支援センター等を介さず直接産業保健総合支援センターに連絡され就労支援を受けられている患者さんも多くおられる。	R5 4件 R6 1件		
済生会新潟病院	あり	<実施状況> ・毎月第3金曜日14時～15時、要予約制。	R5 1件 0件 R6 0件 0件	特に無し。	特に無し。	必要時随時調整。	R5 0件 R6 0件		
長岡赤十字病院	あり	<実施状況> ・第1(水)、第3(金)に定期相談を実施し、随時リモート相談も実施している。	R5 22件 7件 R6 0件 0件	・産保センターとハローワーク、病院の3機関連携:就労中の方が、選択肢として転職も検討していた事例では、産保センターと同時にハローワークへつないだことがあった。この他に、ハローワークの障害者雇用枠で就職した方からの就労相談で産保センターとハローワークが介入した事例があり、産保センターとハローワーク間でも情報共有ができるよう、同意書の変更が検討されている。		がん相談での相談の中で、産保センターへの相談が適切と判断した場合、随時相談している。	R5 3件 R6 0件		
長岡中央総合病院	あり	<実施状況> ・定期出張相談 毎月第2金曜日と第4火曜日 13時30分～15時30分 ・オンライン相談 患者の都合、通院に合わせて適宜設定(ZOOMにて)	R5 40件 8件 R6 3件 0件			・対象あるとき適宜調整	R5 1件 R6 0件		
県立中央病院	あり	<実施状況> ・毎月第2.4木曜日開催(要予約)。令和5年度より「上越地域長期療養者就職支援担当者連絡協議会」が発足。年1回開催し情報共有している	R5 2件 2件 R6 0件 0件	・就労支援に関するパンフレットの整備や院内ポスター掲示 ・当院主催の研修や講演会などでパンフレットを配布 ・ハローワーク担当者と定期的に情報交換		・相談者が希望された際、産業保健総合支援センター担当者へ連絡し、面談調整している。事前にアセスメントシートに添い情報収集し現在の治療状況はじめ就労状況、復職に対するの希望を確認し面談に備えている。	R5 0件 R6 0件		
魚沼基幹病院	なし	<実施状況> 相談希望者が少なく、随時希望者があるときに対応している。	R5 0件 0件 R6 1件 0件	特記なし。	特記なし。	必要時に産業保健総合支援センター担当者と連絡を取り、支援をお願いしている。	R5 1件 R6 0件		
西新潟中央病院	なし		R5 0件 0件 R6 0件 0件	特になし	特になし		R5 0件 R6 0件		
立川総合病院	なし	<実施状況> ・相談実績はなし。必要時は連携を図っていきたい。	R5 0件 0件 R6 0件 0件	院内でのポスター掲示、リーフレットの配置を展開していくことで、情報の周知を図る。支援必要時は随時相談を実施していく。	特にありません。		R5 0件 R6 0件		
柏崎総合医療センター	なし		R5 0件 0件 R6 0件 0件			MSWが適宜外来患者、入院患者の相談に応じている。	R5 0件 R6 0件		
上越総合病院	あり	<実施状況> ・毎月第三水曜日 14:00～16:00 要予約	R5 2件 0件 R6 0件 0件				R5 0件 R6 0件		
佐渡総合病院	なし	・実施なし	R5 1件 0件 R6 0件 0件	・個別相談を継続予定。	特になし。	・昨年度、産保センターへ問い合わせを行ったケースは1件あったが、両立支援促進員が介入できない職業だったため、介入依頼には至らなかった。	R5 0件 R6 0件		

PDCA チェックリスト

資料 4-2



◆活動計画 5月 WG

①G 2G・3G ↑○で囲んでください	リーダー(所属・氏名)新潟市民病院・小林朝美 メンバー(所属・氏名)県立中央病院・樋口伸子、 立川総合病院・吉岡美鈴、柏崎総合医療センター・横関泰江		
ワーキング名	新潟県内におけるロボット手術に係る情報収集・共有チーム		
昨年度の活動状況	ロボット手術の実施状況に関するアンケートを作成し、新潟県がん診療協議会に属する病院へアンケートを実施した。アンケートにて得られた結果を集計の上、ロボット手術医療機関リストを作成した。		
今年度の目標	【今年度目標:具体的な周知内容を明確化し発信できる】 ① 作成したリストの運用方法を検討し、提示する ② リストの更新作業を行う		
行動計画	日程	内容	担当
	7月	情報連携部会にて、現状報告	小林
	8月	8月WGの場で、チーム内で運用方法について検討 →検討した内容を提示→運用開始	全員
	9月中	昨年度のアンケート回答内容について、変更がないか、確認のアンケートを実施	吉岡
	10月中	アンケート集計	樋口
	11月中	変更点を修正したリストを作成	横関
	12月	情報連携部会にて完成したリストを提示する	小林

◆中間報告 8月 WG

中間評価	
後期に向けた課題	

◆最終報告 12月 WG(第2回情報連携部会で報告)

最終評価	
来年度取り組みたいこと	

◆活動計画 5月 WG

1G・ 2G ・3G ↑○で囲んでください	リーダー(所属・氏名) 新発田病院・齊藤 メンバー(所属・氏名) 長岡中央総合病院・遠藤、長岡赤十字病院・橋本、上越総合病院・今井、西新潟中央病院・吉田、佐渡総合病院・齋藤		
ワーキング名	周知連携活動グループ		
昨年度の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ZOOM 会議の開催(毎月)。 ・院内職員向けの動画を作成。 ・他グループへ、動画の内容についてのアンケートを作成し意見を募った。 		
今年度の目標	<p>【今年度目標:具体的な周知内容を明確化し発信できる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度のアンケートをもとに動画の内容について精査し、今年度中の発信を目指す。 ・動画発信後のアンケート作成。 		
行動計画	日程	内容	担当
	6月中	・アンケート内容の共有 ・打合せ ・修正箇所の洗い出し	齊藤
	7月中～ 8月中	・動画の修正 ・打ち合わせ(中間報告前の日程で調整)	全員
	9月中	・他グループへ動画内容について意見を募る。 ・アンケート集計 ・打ち合わせ	
	10月中	・アンケートの共有 ・打ち合わせ ・必要時動画の修正	
	11月中	・予備月 ・打ち合わせ(必要時)	
	12月	・動画配信 ・打ち合わせ(部会前の日程で調整)	

◆中間報告 8月 WG

中間評価	
後期に向けた課題	

◆最終報告 12月 WG(第2回情報連携部会で報告)

最終評価	
来年度取り組みたいこと	

◆活動計画 5月 WG

1G・2G・ (3G) ↑○で囲んでください	リーダー(所属・氏名) 新潟大学医歯学総合病院 志田 香奈子 メンバー(所属・氏名) 済生会新潟病院 渋川 健史 魚沼基幹病院 池田 幸恵 県立がんセンター新潟病院 菅野 まり子		
ワーキング名	アピアランスケアの情報共有の徹底		
昨年度の活動状況	各医療機関のアピアランスケアについての取り組みと自治体の取り組みの情報共有を行うべくアンケートの作成を行った。		
今年度の目標	【今年度目標:具体的な周知内容を明確化し発信できる】 アンケートを配布し情報を集約。各医療機関に正しい情報の発信が出来る。		
行動計画	日程	内容	担当
	5月～6月	依頼文を作成しアンケートを各医療機関に配布	渋川
	6月末	アンケート締め切り	
	7月末まで	アンケート結果の集計	菅野
	8月	情報集約したものをどのような形で各医療機関にフィードバックするか、周知方法の相談を行う	全員
	9月～10月頃	アンケートで取りまとめたデータを各医療機関に配布	全員
	12月	発信した情報をどのように活用出来るか、各医療機関の周知状況を確認する	全員

◆中間報告 8月 WG

中間評価	
後期に向けた課題	

◆最終報告 12月 WG(第2回情報連携部会で報告)

最終評価	
来年度取り組みたいこと	